

事務事業名	妊婦・乳幼児健康教室事業	事務事業No.	10202000338	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
マタニティクラスは、S41年母子保健法が施行され妊婦を対象に開始。H11年「男女共同参画基本法」が施行され、夫婦で子育てができる環境整備を行った。乳幼児健康教室は、H22年度より子育て支援センターと協力をして実施。現在子育て支援センターの事業に移行。マタニティクラスは、コロナの影響でR2年度より個別対応に切り替え、R4年度も個別対応で実施した。コロナ禍で妊婦さん同士の交流の場が減っている状況を鑑みて、育児の孤立化や産後うつ予防を目的に、R4.12月～「プレママカフェ」を開始。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
R4年度もコロナの影響で医療機関のマタニティクラスが中止だったり、動画開催になっていたため、「出産前に体験することでイメージがついた」「夫と参加できてよかった」という声が聞かれた。一方で、夫の参加希望者より土・日の開催希望があった。プレママカフェ参加者からは、「出産に対してのお互いの思いや体の変化について話ができよかった」「ママカフェも開催してほしい」との声が聞かれた。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 教室に参加することで、安心して妊娠・出産・育児が迎えられることは、子育て支援に結び付いている。妊娠期から接点を持つことで、切れ目のない支援につながる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である コロナ禍でマタニティクラスを実施しない医療機関が依然として多く、出産や育児に不安を抱える妊婦さんが多いため、行政が開催することで不安軽減につなげることは必要である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 新型コロナウイルスの感染法上の分類がR5.5/8～「5類」に引き下げられることから、マタニティクラスの集団実施やプレママカフェの対象者拡大、離乳食教室等各種健康教室の再開を検討していく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 対象者が限定される事業であり、類似事業がないため、統廃合・連携の余地がない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 助産師・保健師・管理栄養士が個別対応することで、必要な支援につなげることができるため、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全ての妊産婦・乳幼児及び保護者が対象であり、各保健事業は市民の自己負担はないことから公平性は保たれ、負担は適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	マタニティクラスは、コロナの影響でR2年度より個別対応に切り替え、R4年度も個別対応で実施。コロナ禍で妊婦さん同士の交流の場が減っている状況を鑑みて、育児の孤立化や産後うつ予防を目的にR4.12月～「プレママカフェ」を開始。参加者の満足度は高かったが、夫の平日参加が困難な方が多く、土日開催を希望する声があったため、検討が必要。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持	○								低下				
成果	向上	コスト																							
		削減	維持	増加																					
維持	○																								
低下																									
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ④																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>